**平成２６年第　　　　　号**

**尊厳死宣言公正証書**

**本職は、尊厳死宣言者・坂上仁志の嘱託により、平成２６年１月２８日、その陳述内容が嘱託人の真意に基づくものであることを確認の上、宣言に関する陳述の趣旨を録取し、この証書を作成する。**

**第１条　私、坂上仁志は、私の傷病が不治であり、かつ死が迫っていたり、生命維持措置無しでは生存できない状態に陥った場合に備えて、私の家族、縁者ならびに私の医療に携わっている方々に次の要望を宣言いたします。**

**この宣言書は、私の精神が健全な状態にある時に書いたものであります。**

**したがって、私の精神が健全な状態にある時に私自身が破棄するか、または撤回する旨の文書を作成しない限り有効であります。**

**第２条　私の傷病が、現代の医学では不治の状態であり、既に死が迫っていると担当医を含む２名以上の医師により診断された場合には、ただ単に死期を引き延ばすためだけの延命措置はお断りいたします。**

**２　ただしこの場合、私の苦痛を和らげるためには、麻薬などの適切な使用により十分な緩和医療を行ってください。麻薬などの副作用により死亡時期が早まったとしてもかまいません。**

**３　私が回復不能な遷延性意識障害（持続的植物状態）に陥った時は生命維持措置を取りやめてください。**

**第３条　以上、私の宣言による要望を忠実に果たしてくださった方々に深く感謝申し上げるとともに、その方々が私の要望に従ってくださった行為一切の責任は私自身にあることを附記いたします。**

**以　上**

**本　旨　外　要　件**

**川崎市　住所**

**会社役員**

**宣言者　　　　　　　　　　　 坂　上　仁　志**

**昭和３７年00月00日生**

**上記は、自動車運転免許証の提示により、その人違いでないことを証明した。**

**以上を宣言者に閲覧させたところ、これを承認し、次に署名押印する。**

**宣　言　者　　　　　坂　上　仁　志　**

**この証書は、平成２６年１月２８日、本職役場においてこれを作成し、本職次に署名押印する。**

**川崎市高津区溝口三丁目１４番１号**

**横浜地方法務局所属**

**公　証　人　　　　　　　瀧　澤　佳雄　**